

認知症サポーター養成講座



「認知症サポーター」とは・・・

認知症について正しく理解し、地域や職場で認知症の人やその家族を温かく見守り、寄り添い、支え合う応援者のことです。認知症の理解を深め、認知症になっても安心できる地域を目指しましょう。

現在の認知症サポーター数：14,769名(R6年9月現在)

今年度目標の15,000名まであと少しです！

小林高等学校の様子



◆生徒さんの感想◆

認知症は自分が思っていたよりもずっと身近であり、誰でも起こり得ることを学んだ。

今後、認知症や障がいのある方と接した時、相手の立場にたち手を差し伸べられるような人になりたい。

宮崎銀行の様子



◆職員さんの感想◆

- ・サポーターになれて嬉しいです。仕事中、オレンジリングつけます。
- ・日常のお客様対応に生かしていきます。

小林秀峰高等学校の様子



◆生徒さんの感想◆

私は、祖父母と一緒に暮らしているので、今後もし、祖父母が認知症になっても、今回の講座で学んだことを生かします。

団体・少人数での講座などお気軽にご相談下さい。

【問い合わせ先】

小林市地域包括支援センター：25-0707

のじり地域包括支援センター：44-2271

小林市西部地域包括支援センター：27-2552



オレンジの花プロジェクト



9月21日は認知症の日(世界アルツハイマーデー)です。

また、9月は認知症月間となっており、この期間内に認知症への理解を深めるイベント等を毎年実施しています。

9月19日から9月26日までの間は、小林市役所本庁舎をオレンジ色にライトアップし、認知症に関する冊子の展示コーナーやオレンジの花の展示を行っています。

小林秀峰高校農業科 園芸専攻生×小林市長寿介護課×地域包括支援センターが連携し、認知症普及啓発のシンボルカラーである「オレンジ」色の花を育てました。オレンジの花は、市役所の庁舎や各地域包括支援センターなどで展示しています。この花を見て、認知症について考えるきっかけにいただけたらと思います。

鉢上げ作業の様子



オレンジの花プロジェクトを通して、認知症に対する知識や理解を身につけたい

生徒さんが一生懸命育ててくれた苗を受け取りました

苗受け取りの様子



花壇の様子



プランターへ寄せ植えの様子



各地域包括支援センターのInstagram、ホームページ、フェイスブック、市の公式LINE・ホームページ等で、取り組み状況を発信しています！ぜひご覧ください！

